



映画  
シンポジウム

アジアを  
知る

# 女らしさ

## MOHTARAMA

2010年のヘラートで、2009年のカブールで、2011年マザレ・シャリフで、ブルカ屋のおかみや、抗議運動の場に集まる人々、12歳で結婚を余儀なくされた女性が、「女」であることをどのように語るのかを記録したドキュメンタリー映画です。続くパネルディスカッションでは、「女性運動」と呼ばれるものをどのように捉えることができ、そこにどのような希望があるのか検討してみたいと思います。

**登壇者** 板橋 暁子 (東京大学)、岡崎 弘樹 (日本学術振興会)、後藤 絵美 (東京大学)、  
鳥山 純子 (立命館大学)、長沢 栄治 (東京大学名誉教授)

2020.

2. 20. Thu

18:00-20:30

東京大学 山上会館大会議室

### —プログラム—

17:30 開場 (山上会館)

司会: 岡崎弘樹

18:00 開会・趣旨説明 (後藤絵美・映画紹介も含む)

18:20~19:20 上映

19:20~19:30 休憩

19:30~20:20 パネルディスカッション

コメント1 後藤絵美 (5分)

コメント2 鳥山純子 (10分)

ディスカッション 板橋暁子 (5分)・フロアとの応答

20:20 閉会の言葉 (長沢栄治)



Malek Shafi' i & Diana Saqeb監督  
2012年 アフガニスタン

共同主催  
◆ASNET (東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク)  
◆科研費基盤研究(A)「イスラーム・ジェンダー学のための基礎的総合的研究」(代表:長沢栄治)  
◆科研費新学術領域研究「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて」B01班「規範とアイデンティティ」(代表:酒井啓子)  
◆中東映画研究会